

## 第3章

# 施策5 基本事業1

評価対象年度	令和6年度	事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	5日 日
事務事業名	休日診療委託事業				事業類型	休日診療			
担当部課G等	保健福祉部 健康推進課			健康増進グループ	記入者氏名				
総合計画体系	施策の大綱(施策名)	第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり				■ 実施計画 対象事業			
	施策名	5 適切な医療が受けられる環境の充実を図る							
	基本事業名	1 地域医療と救急医療体制の充実							
予算科目	一般会計	款 04	項 01	目 01	事業名 休日診療委託事業	根拠法令	救急医療対策事業実施要綱 (厚生労働省)		
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)			

### 事業概要

#### 【全体概要】

市民が休日の昼間に急な傷病により、医療機関を受診する必要が生じた場合、安心して適正な医療サービスが受けられるよう、救急医療体制の充実を図る。在宅当番医制として那珂医師会へ委託。

#### 【業務内容】

- ・次年度の日曜日・祝日・年末年始(12/31,1/1,2,3)で、診療可能な日を医師会事務局が調査し、当番表の案を作成→医療機関確認→変更なければ医師会との委託契約の締結
- ・広報、ホームページ掲載
- ・医療情報ネットへ休日当番医の入力
- ・年度末休日診療実施医療機関へ委託料の支払い

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
市民		市民(常住人口)		人	52700.	52365.	51985.	52300.	52000.
					0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
①日曜・祝日・年末年始に急病患者の診察・治療を委託する。 ・実施医療機関:那珂市開業医療機関のうち、那珂医師会に加入しており、かつ休日診療の協力医療機関。(受付時間 9:00～11:30) ②水戸市休日夜間診療所の周知。 (いばらき県央地域連携中枢都市圏連携事業)		休日当番医療機関数		箇所	19.	19.	19.	19.	19.
		休日診療受診者		人	1629.	1658.	1700.	1700.	1700.
		水戸市休日夜間診療所受診者(那珂市在住者)		人	300.	301.	300.	300.	300.
					0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
休日における医療体制を整備することにより、市民が安心して休日医療を受けられるようにする。		適切な医療が受けられないと感じている人		%	71.	68.1	70.	72.5	75.
					0.	0.	0.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費	
事業費 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	3,940	3,820	5,230	5,230	5,230	0	
	人件費計(B)	千円	1,065	0.20人	1,529	0.25人	1,529	0.25人	1,529
投入量(A)+(B)	千円	5,005		5,349		6,759		6,759	
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ			休日の急病患者への医療提供ニーズの高まりから、日曜祝日年末年始の初期診療機関として、那珂医師会へ在宅当番医輪番制として委託した。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			医師の高齢化やスタッフ不足等により休日診療を委託できる協力医療機関の確保が困難な状況。令和2年度からはコロナの影響により、協力医療機関が減少したが、令和5年度に1協力医療機関が増加した。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			(協力医療機関)・スタッフの確保が厳しい。・紹介できる専門医等名簿が欲しい。(市民)こどもに対する診療は午後も実施してほしい。						

(4)前回(令和4年度)の評価結果に対する改革・改善の取り組み			
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	(前回評価結果を踏まえて見直した内容) 休日診療実施医療機関の体制を継続した。	(見直し内容に関する予算への反映) <input type="checkbox"/> 削減(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） <input type="checkbox"/> 増加(事業費) <input type="checkbox"/> （人件費） ■反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市閥与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である □見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民が必要時に適切な医療を受けられるよう救急医療体制を整備することは、市民の安全・安心を確保するために必要不可欠であり、市の責務である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●成果が一部の対象者に限定されていますいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	□余地がない ■余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市単独では、限られた医療機関によるマンパワーの確保が困難な状況にあり、医療機関数を確保するため、委託料見直しを行う必要がある。休日夜間救急医療体制等は、平成29年度より県央地域定住自立圏形成に関する協定により、近隣市町村の診療所を活用し、事業の幅を広げている。今後も近隣市町村との連携事業で補充をはかる必要がある。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない ■廃止・休止の可能性がない □統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業ではなく、事業廃止・休止の余地はない。 県央地域定住自立圏形成に関する協定における休日夜間救急体制は、他市町村の協力があつての事業であり、市独自でも、現状通りに市内で受診できる医療機関を確保しておくべきであることから統廃合の余地はない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない ■人件費の削減余地がない □事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 委託料は、近隣市町村と比較して安価であり、市郡医師会からの声も出していることから、委託料見直しの検討を行う必要がある。人件費においても抑制しているため、さらなる削除は困難である。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	■適正である □受益者負担を求める事業ではない □見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市民は、受診にあたり保険診療自己負担分を負担しているため適正である。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載																
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <span style="display: inline-block; width: 150px; vertical-align: middle;">■見直し(改革・改善)→</span> <div style="display: inline-block; vertical-align: middle; border: 1px solid black; padding: 2px; border-radius: 10px; text-align: center;"> <input type="checkbox"/>目的の再設定  <input type="checkbox"/>□公平性の改善  <span style="margin-left: 20px;">■有効性の改善</span> <span style="margin-left: 20px;">□効率性の改善</span> </div> <span style="display: inline-block; width: 150px; vertical-align: middle;">→□現状維持(現状通りで特に改革改善はない)</span>																	
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 那珂医師会内他自治体の委託料と同程度の単価に上げていく。また、近隣市町村と連携し、市民に対して安心して適正な医療が受けれるよう、救急医療体制の充実を図っていく。	改革・改善による期待成果 <table border="1" style="width: 100px; border-collapse: collapse;"> <tr> <td rowspan="3" style="width: 30px; text-align: center;">成 果</td> <th colspan="3" style="text-align: center;">コスト</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">削減</th> <th style="text-align: center;">維持</th> <th style="text-align: center;">増加</th> </tr> <tr> <th style="text-align: center;">向上</th> <td style="text-align: center;">○</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">維持</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">○</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">低下</td> <td style="text-align: center;">×</td> <td style="text-align: center;">×</td> </tr> </table>	成 果	コスト			削減	維持	増加	向上	○	×	維持	×	○	低下	×	×
成 果	コスト																
	削減		維持	増加													
	向上	○	×														
維持	×	○															
低下	×	×															
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載																
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <span style="display: inline-block; width: 150px; vertical-align: middle;">(■見直し□現状維持)</span>	改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 那珂医師会内他自治体の委託料と同程度の単価に上げることで医療機関数の確保に繋げる。また、市民が安心して適正な医療が受けれるよう、近隣市町村と連携し救急医療体制の充実を図っていく。																
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <span style="display: inline-block; width: 150px; vertical-align: middle;">(□見直し□現状維持)</span>																
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)	<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 継続 <span style="display: inline-block; width: 150px; vertical-align: middle;">(□見直し□現状維持)</span>																

## 第3章

# 施策5 基本事業2

評価対象年度	令和6年度		事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	11日 日	
事務事業名	趣旨普及費				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	保健福祉部 保険課			保険・年金グループ	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり				実施計画 ■ 対象事業				
	施策名		5 適切な医療が受けられる環境の充実を図る								
	基本事業名		2 健康保険制度の安定運営								
予算科目	国民健康保険特 別会計(事業勘 定)	款 01	項 03	目 01	事業名 趣旨普及費	根拠法令	国民健康保険法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)								<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)		

### 事業概要

#### 【全体概要】

国民健康保険の被保険者へ、制度の概要及び事業等についての理解を深めてもらうための啓発活動を実施することにより、国民健康保険事業を適正かつ円滑に運営する。

#### 【業務内容】

国保加入者からの問合せに対しても、口頭又は文書による説明を行う。制度の改正等の情報提供については、パンフレットの配布及び広報紙・ホームページ・動画モニター等を活用して行う。

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)	
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)								
被保険者		被保険者数(年度平均)		人	11042.	10544.	10051.	9602.	9152.	
		国保世帯数(年度平均)		世帯	7158.	6938.	6705.	6468.	6233.	
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)								
・口頭で趣旨普及(窓口、電話) ・文書等での趣旨普及(パンフレット、広報紙、おしらせ版、ホームページ)		広報紙等への掲載回数		回	4.	4.	4.	4.	4.	
		パンフレットの配布数		冊	8640.	8550.	8450.	8350.	8300.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)								
被保険者に国保制度について理解を深めてもらう。 必要な時に適切な医療が受けられる。		適切な医療サービスが受けられている		%	70.98	68.08	70.	72.5	75.	
		マイナ保険証利用率		%	9.54	41.42	50.	55.	60.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
					0.	0.	0.	0.	0.	
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費		
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	県支出金	千円	0	0	0	0	0	0		
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0		
	その他の 一般財源	千円	0	0	0	0	0	0		
	事業費計(A)	千円	534	466	778	778	778	0		
	人件費計(B)	千円	500	0.10人	500	0.10人	500	0.10人	500	0.10人
投入量(A)+(B)	千円	1,034	966	1,278	1,278	1,278	1,278			
(3)事務事業の環境変化・市民意見等										
①事業を始めたきっかけ		国民健康保険の被保険者へ、制度の概要及び事業等についての理解を深めてもらうため。								
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)		コロナ禍以降、オンライン及び郵送による手続きを増やして、窓口の混雑を緩和する方法に切り替わってきている。								
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)		被保険者からは、制度が複雑でわかりにくいという意見や、収入の少ない人に対してはもっと負担が軽減されるような制度にしてほしいという要望などがある。								

(4)前回( )の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 新規評価対象 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持

(見直し内容に関する予算への反映)
<input type="checkbox"/> 削減 (事業費 0 千円)
(人件費 0 千円)
<input type="checkbox"/> 増加 (事業費 0 千円)
(人件費 0 千円)

■ 反映なし

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市町村の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■ 妥当である □ 見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が国民健康保険の保険者であり、被保険者に対し、制度の概要等についての趣旨普及は保険者が行うべき事業である。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	□ 余地がない ■ 余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 職員の知識向上を図ることで、口頭による趣旨普及の成果向上の余地がある。また、マイナ保険証の利用について、啓発活動を継続することにより、マイナ保険証利用率向上の余地がある。
有効性評価	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■ 統廃合の余地がない ■ 廃止・休止の可能性がない □ 統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため、統廃合の余地がない。 制度の趣旨普及の実施は、国民健康保険の保険者として必要な事業であり、廃止・休止の可能性がない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■ 事業費の削減余地がない ■ 人件費の削減余地がない □ 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) □ 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最低限の事業費と人件費で実施しており、削減の余地がない。
公平性評価	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□ 適正である ■ 受益者負担を求める事業ではない □ 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 趣旨普及は、国民健康保険の保険者として必要な事業であり、パンフレットの配布等による受益者負担を求めるものではない。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)	※担当課長、グループ長、担当者が記載										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 → <input checked="" type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)	<input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 効率性の改善										
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画) 職員の知識向上を図り、口頭による趣旨普及を行う際に、被保険者に伝わりやすい説明を実施していく。 マイナ保険証の利用について、国の動向を確認しながら、啓発活動を継続していく。	改革・改善による期待成果										
	<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成 果</td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th>○</th> <td></td> <td></td> </tr> </table>	成 果	コスト			削減	維持	増加	○		
成 果	コスト										
	削減		維持	増加							
	○										
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))	※担当部長が記載										
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input checked="" type="checkbox"/> 繼続 ( <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )											
改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入) 職員の知識向上を図り、窓口等での普及啓発にも積極的に取り組む。 マイナ保険証については、国の動向を確認しながら、啓発活動を継続して行う。											
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))											
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )											
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)											
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )											

評価対象年度	令和6年度		事務事業評価シート				作成日 点検日	令和7年 年	6月 月	11日 日	
事務事業名	保健衛生普及費				事業類型	事業の推進					
担当部課G等	保健福祉部 保険課			保険・年金G	記入者氏名						
総合計画体系	施策の大綱(施策名)		第3章 やさしさにあふれ生きがいの持てるまちづくり						■ 実施計画 対象事業		
	施策名		5 適切な医療が受けられる環境の充実を図る								
	基本事業名		2 健康保険制度の安定運営								
予算科目	国民健康保険特別会計(事業勘定)	款 04	項 01	目 01	事業名 保健衛生普及費	根拠法令	国民健康保険法				
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 年度～)			<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( 年度～ 年度)				
事業概要											
【全体概要】 医療費通知及び後発医薬品(ジェネリック)差額通知を送付することにより、被保険者に医療費に対する認識を深めてもらい医療費の適正化を図る。						【業務内容】 保険者が被保険者の健康保持増進のために行う事業 医療費通知 年2回 後発医薬品(ジェネリック)差額通知 年2回					

### 1 現状把握の部(DOシート)

(1)事務事業の目的と効果・指標等の推移				単位	05年度 (実績)	06年度 (実績)	07年度 (見込)	08年度 (計画)	09年度 (計画)
①対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		④対象指標(対象の大きさを表す指標)							
被保険者		被保険者数(年度平均)		人	11042.	10544.	10051.	9602.	9152.
					0.	0.	0.	0.	0.
②手段(具体的な事務事業のやり方)		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)							
国民健康保険被保険者に対して、健康に対する意義を高揚させることで、健康を維持増進するとともに、適正な受診を促すことにより医療費の適正化を図る。		医療費通知		通	18669.	12624.	12000.	12000.	12000.
		ジェネリック差額通知		通	563.	516.	500.	500.	500.
					0.	0.	0.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.
③意図する成果(この事業によって、対象をどう変えるのか、したいのか)		⑥成果指標(対象における意図された対象の程度)							
国民健康保険被保険者に医療費通知を送付することにより、健康への関心を高め、健康を維持増進するとともに医療費の適正化を図る。		健康であると感じている市民の割合		%	72.06	72.65	79.5	80.75	82.
					0.	0.	0.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.
					0.	0.	0.	0.	0.
(2)投入量の推移		単位	05年度(実績)	06年度(実績)	07年度(見込)	08年度(計画)	09年度(計画)	総事業費	
事業費 内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	千円	418	596	627	627	627	0	
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0	
	その他の一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	
	事業費計(A)	千円	1,589	1,444	2,183	2,183	2,183	0	
	人件費計(B)	千円	2,007	2,040	2,810	2,810	2,810	0	
投入量(A)+(B)	千円	690	0.10人	500	0.10人	500	0.10人	500	0.10人
(3)事務事業の環境変化・市民意見等									
①事業を始めたきっかけ			健康管理と医療に関する関心を高めてもらい医療費の適正化を図るため。						
②事務事業をとりまく状況(対象者や根拠法令等はどう変化していますか? 開始時期と比べてどう変わりましたか?)			医療費適正化の取組みが求められる中、医療費通知の他にジェネリック差額通知を平成27年度に開始した。国民健康保険制度の存続のためにも、今後も適正化につながる取組みを増やしていく必要がある。						
③関係者からの意見要望(この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられていますか?)			医療費通知やジェネリック差額通知を送付しないでほしいという意見がある一方で、医療費通知についてはできるだけ早く送付してほしい、確定申告の前に前年分を一括で再発行してほしいという意見がある。						

(4)前回( )の評価結果に対する改革・改善の取り組み	
前回の評価の結果、どのように取り組みましたか？また、取り組み後どのように変わりましたか？見直しの結果、予算にはどのように反映しましたか？	(前回最終評価) (前回評価結果を踏まえて見直した内容) <input type="checkbox"/> 終了 新規評価対象 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持

## 2 評価の部(SEE) \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①市関与の妥当性 ●市が主体となって税金を使ってこの事業を行うことは妥当ですか？●国や県ではなく、市が実施する理由はなんですか？●民間事業者は類似の事業を実施していませんか？	■妥当である □見直す必要がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 市が国民健康保険の保険者であり、被保険者に対し、医療費通知を行う必要がある。また、後発医薬品(ジェネリック)差額通知を送付を行い、医療費の適正化を図ることで、国民健康保険運営の健全化に繋げるため、市が実施する必要がある。
	②成果の向上余地 ●当初の見通しに沿った成果となっていませんか？●対象者が一部の対象者に限定されてしまいませんか？●対象数が増加している場合、現状どおりの対応では十分に成果が得られないおそれはありませんか？	■余地がない □余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 医療費通知は、医療費が掛かっているすべての被保険者に対して送付している。また、後発医薬品(ジェネリック)の使用率は、すでに目標の80%を達成しており、除外者を除く100円以上の差額があるすべての被保険者に対して差額通知を送付しているため、成果向上は難しい。
	③類似事業との統廃合余地 廃止・休止の可能性 ●市の事業で対象指標や活動指標が似ているものはありませんか？●廃止又は休止した場合、事業の対象や成果の状況から判断し、影響は限定的で対応は可能であると見込まれますか？	■統廃合の余地がない □統廃合の余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がない <input type="checkbox"/> 廃止・休止の可能性がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 類似事業がないため、統廃合の余地がない。 医療費の適正化を図るために、医旅費等の通知送付は、保険者として必要な事業であり、廃止・休止の可能性がない。
	④事業費や人件費の削減余地 ●成果を下げずに、単位当たりコストを削減し活動指標を増加(維持)させることはできませんか？●担当者の業務の一部(全部)を民間委託にすることで、担当者の負担(人件費)を減少できませんか？●事業目的にすぐれない支出はありませんか？	■事業費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 事業費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がない <input type="checkbox"/> 人件費の削減余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) 必要最低限の事業費と人件費で実施しており、削減の余地がない。
	⑤受益者負担の適正余地 ●事業の内容に照らし、受益者の負担割合は適正ですか？●受益者負担を求める事業ではない、負担割合が低い事業の場合、その理由はなんですか？	□適正である <input type="checkbox"/> 見直す余地がある(→3計画の部にて「現状維持」以外にチェック) <input type="checkbox"/> 受益者負担を求める事業ではない 保健事業は保険者が行うべきものであり、医療費通知及び後発医薬品(ジェネリック)差額通知を送付することによる受益者負担を求めるものではない。

## 3 計画の部(PLAN)

(1) 1次評価(次年度に向けた方向性)		※担当課長、グループ長、担当者が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 → <input type="checkbox"/> 見直し(改革・改善) → <input type="checkbox"/> [ <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 ] <input type="checkbox"/> 現状維持(現状通りで特に改革改善はない)		□ 有効性の改善    □ 効率性の改善																			
改革・改善の具体的な内容(改革案・実行計画)		改革・改善による期待成果																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成 果</th> <th colspan="3">コス ト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向 上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維 持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低 下</td> <td></td> <td></td> <td>××</td> </tr> </tbody> </table>	成 果	コス ト			削減	維持	増加	向 上				維 持		○		低 下			××
成 果	コス ト																				
	削減	維持	増加																		
向 上																					
維 持		○																			
低 下			××																		
(2) 2次評価(2次評価者として判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))		※担当部長が記載																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )		改革・改善の具体的な内容(1次評価者と同じの場合も記入)																			
(3) 外部評価(外部評価委員会が判断した今後の事務事業の方向性(改革・改善策))																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																					
(4) 3次評価(行政評価本部会議メンバーによる最終的な方向性を必要とする場合)																					
<input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 統廃合 <input type="checkbox"/> 繼続 ( <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 現状維持 )																					